

くらしき

誰もが安心して暮らせる福祉のまちへ

社協だより

44号



社会福祉 倉敷市社会福祉協議会
法人

〒710-0834 倉敷市笹沖180番地
TEL:086-434-3301 FAX:086-434-3357
E-mail: kurasyakyo@kurashikisyakyo.or.jp
ホームページ: <http://www.fukushiokayama.or.jp/kurashiki/kurashiki.htm>



倉敷ボランティア大会

倉敷ボランティア大会（3月2日開催）

市民のみなさんに広くボランティア活動を理解していただくことを目的に開催しました。

当日は講演会やボランティアの発表ステージ、車椅子グランドゴルフなどのイベントを催しましたが、写真はレクリエーションとしての昔あそびコーナーでの一コマ。

参加されたみなさんには気軽に楽しんでもらえる手作りおもちゃ作りを楽しんでもらい、会場は終始笑顔が絶えませんでした。

もくじ

- 2 共同募金のお礼、会員募集のお願い
介護者の会、高齢者等心配ごと相談
- 3 平成20年度事業計画・予算
- 4 地区社協の紹介
- 5 ボランティア活動の紹介
- 6～7 寄付者名簿
- 8 お知らせのページ

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

赤い羽根共同募金・ 歳末たすけあい募金のお礼

昨年10月から12月にかけて行なわれました、「赤い羽根共同募金運動」、「歳末たすけあい募金」には、市民の皆様の多大のご理解ご協力により、たくさんの善意の募金が寄せられました。

この募金は、岡山県共同募金会を通して福祉関係団体の事業費や在宅サービス、ボランティア活動、高齢者・障害者・児童福祉等の活動に活用させていただきました。ここに募金結果をご報告させていただきます。

心より厚くお礼申し上げます。

	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
倉敷	25,738,568円	9,374,815円
水島	10,800,608円	3,432,168円
児島	11,371,529円	3,421,200円
玉島	9,607,416円	3,213,268円
船穂	1,096,923円	351,168円
真備	3,460,028円	1,355,500円
合計	62,075,072円	21,148,119円

社協会員募集のお願い

社会福祉協議会では、市民のみなさまに会員としていただいた会費を、地区社協活動の支援、地域福祉活動の支援、ボランティア活動への支援・福祉啓発活動などに役立てています。

<会員の種類>

普通会員	会費1口	300円
特別会員	会費1口	1,000円
賛助会員	会費1口	5,000円

<平成19年度の状況>

普通会員	110,114口	31,985,050円
特別会員	1,325口	1,383,370円
賛助会員	787口	3,992,370円
合計	112,226口	37,360,790円

倉敷市社会福祉協議会は、介護者のみなさんを応援します!

介護者の悩み・疲れ、不安は経験した人にしかわかりません。介護の諸問題を解決することによって、より良い介護を行えるよう「介護者の会」があります。

倉敷市社会福祉協議会は、各地区の「介護者の会」の活動を支援したり、介護者のリフレッシュ事業（日帰り旅行）などを実施しています。

この介護者のリフレッシュ事業は、各事務所で実施しています。

介護者のリフレッシュ事業開催内容や介護者の会の入会希望などは、お近くの倉敷市社会福祉協議会各事務所へお問い合わせください。



倉敷市社会福祉協議会では、各事務所（倉敷・水島・児島・玉島・船穂・真備）で、年1回ずつリフレッシュ事業も行っています。



介護者の会では、毎月定例会を行い談話や講座、日帰り旅行などを行っています。

高齢者等心配ごと相談所

- ・倉敷（毎火曜日） ☎ 426-7867
- ・児島（毎木曜日） ☎ 473-1128
- ・真備（毎月曜日） ☎ 0866-98-4883

お気軽に！お待ちしております！

- ・水島（毎水曜日） ☎ 446-1900
- ・玉島（毎金曜日） ☎ 522-8137

（いずれも：10時から16時）



社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会 平成20年度 重点目標と当初予算

昭和62年の5社協合併から20年を経過し、平成17年10月の1市2町合併からは3年を経過しようとしています。

本会では、地域の福祉力の格差解消や、活動のための財源確保、事務・事業の見直しといった課題解決のため、本年度から地域福祉活動計画等の計画策定に着手するとともに、住民主体で福祉のまちづくりを進めていくための活動の基盤となる地区社会福祉協議会の設立や地域福祉推進機能の拡充などを引き続き推進してまいります。

資金収支当初予算書

(自)平成20年4月1日 (至)平成21年3月31日

(会計区分名) 一般会計

(単位: 千円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減
經常活動による収入	会費収入	37,197	36,189	-1,008
	寄附金収入	31,250	23,515	-7,735
	經常経費補助金収入	123,496	119,381	-4,115
	受託金収入	145,756	153,763	8,007
	事業収入	10,270	8,172	-2,098
	共同募金配分金収入	66,348	62,359	-3,989
	介護保険収入	81,473	87,789	6,316
	自立支援費等収入	0	3,691	3,691
	雑収入	9,079	1,041	-8,038
	受取利息配当金収入	123	107	-16
	会計単位間繰入金収入	5,907	4,741	-1,166
	経理区分間繰入金収入	141,389	122,897	-18,492
	經常収入計(1)	652,288	623,645	-28,643
	収入支出	人件費支出	277,289	253,166
事務費支出(一般管理費)		25,515	26,204	689
事業費支出(直接介護支出)		214,599	224,641	10,042
負担金支出		50	50	0
経理区分間繰入金支出		140,876	122,897	-17,979
經常支出計(2)		658,329	626,958	-31,371
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-6,041	-3,313	2,728	
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	固定資産取得支出及び繰入金支出	6,531	9,580	3,049
施設整備等による支出	施設整備等支出計(5)	6,531	9,580	3,049
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-6,531	-9,580	-3,049
財務活動による収入	積立金取崩収入	10,690	0	-10,690
	その他の収入	14,118	0	-14,118
	財務収入計(7)	24,808	0	-24,808
	その他の支出	13,288	12,817	-471
	財務支出計(8)	13,288	12,817	-471
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	11,520	-12,817	-24,337	
予備費(10)	16,130	5,382	-10,748	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-17,182	-31,092	-13,910	
前期末支払資金残高(12)	131,749	162,264	30,515	
当期末支払資金残高(11)+(12)	114,567	131,172	16,605	

社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会 平成20年度 重点目標・事業

- 1 地域福祉活動計画の策定(新)
- 2 基盤強化計画の策定(新)
- 3 地区社会福祉協議会設立の推進
- 4 在宅福祉サービスの推進
- 5 ボランティア活動及び市民活動支援の推進
- 6 児童・高齢者・障害者及び低所得世帯に対する福祉の推進

児島競艇場売店事業特別会計

(事業収入の部)

(単位: 千円)

科目	予算額	前年度予算額(補正後)	差引増減額
事業収入	83,043	85,945	-2,902
受取利息配当金収入	1	3	-2
受託金収入	19,752	20,116	-364
雑収入	121	155	-34
当期収入額計	102,917	106,219	-3,302
収入合計	102,917	106,219	-3,302

(事業支出の部)

(単位: 千円)

科目	予算額	前年度予算額(補正後)	差引増減額
売上原価	67,265	69,018	-1,753
人件費支出	22,969	22,673	296
事務費支出	7,557	7,919	-362
会計単位間繰入金支出	4,741	5,907	-1,166
当期支出額計	102,532	105,517	-2,985
予備費	385	702	-317
支出合計	102,917	106,219	-3,302



平成20年度事業計画、資金収支当初予算書は、倉敷市社会福祉協議会事務局及びホームページでもご覧になれます。

地区社協の紹介

児島地区

赤崎地区社会福祉協議会



2月23日に行なわれた"グランドゴルフ大会"倉敷ケーブルテレビが取材に来て、この日の夜のニュースにでました。

昨年の11月18日に盛大に設立総会を開催し、児島地区としては9番目に赤崎地区社会福祉協議会が誕生しました。平成19年度は、活動期間が4ヶ月しかありませんでしたが、地区社協としての役割を果たすべく、地域住民のみなさんのご協力を頂き、各担当役員の活躍で6事業をこなすことが出来ました。

平成20年度は、地区社協本来の機能である“地域で活躍している各組織や団体が、連携を取りやすくする役割”を十分に果たし、地域住民の福祉向上や笑いのある明るい地域づくりに寄与する事業を中心に、鋭意取り組み中と言ったところです。

具体的には、高齢社会という言葉が常用化している昨今、行政だけでは手の届かない部分の地域特有の課題にも、社会福祉協議会や高齢者支援センターと協力しながら取り組んでおります。

また、地域全体が安全で安心して暮らせるようにする為の防犯活動や環境衛生活動、そして三世代交流活動を、昨年引き続き継続して取り組んでまいります。

『みんなの協力心で 幸せな地区づくり』をスローガンにして、より暮らしやすい地域にすべく、住民のみなさんがボランティア活動に励んでおります。

赤崎地区社協会長 片山 瀧雄



1月26日(土)に行なわれた"もちつき大会"

真備地区

服部地区社会福祉協議会

服部地区社協は、昭和49年社会福祉法人真備町社会福祉協議会が誕生して以来、服部分会として歩んできました。倉敷市との合併に伴い、服部地区社会福祉協議会と名称を改め、新しい門出をしました。

小さな地区ですが、いきいきサロン活動、友愛訪問など、地区社協で取り組んでいます。服部まちづくり推進協議会の協力のもと、敬老会、高齢者給食サービス、ふれあいのタベ、男性料理教室等、心豊かに暮らせる地域づくりとして、活動をしています。

服部地区社協会長 水川 彰



☆活動紹介☆

交通安全教室の様子

玉島警察署・真備出張所交通指導員の方より、交通安全と、振り込め詐欺防止についてのお話を聞きました。ユニークな交通クイズで交通の再確認を行い、楽しく交通の勉強をしました。



男性料理教室の様子

メニュー

- ・ 鮭とブロッコリーの豆乳煮
- ・ ブロッコリーと海老の梅肉くるみ和え
- ・ 淡雪風コーンスープ
- ・ 白玉焼き団子

VIVA! VOLUNTEER

ボランティアのいろいろ



施設での活動ボランティア



おもちゃの病院の技術ボランティア



啓発ボランティア



託児ボランティア



レクリエーションボランティア



介助ボランティア



託児ボランティア

ほかにもいろんな
ボランティア活動
や講座があります



森のわんぱくクラブ



視覚に障がいがある方へのITサポートボランティア

要約筆記奉仕者養成講座開講!!

- 日 時：平成20年6月7日(土) 午後1時～4時まで
以後毎週土曜日 全10回
- 場 所：くらしき健康福祉プラザ3階 ボランティア交流室
- 受講料：2,000円(テキスト代、その他必要物品込)
- 申込期日：平成20年6月5日(木)
- 問合せ先：倉敷ボランティアセンター TEL 434-3350

『要約筆記って何?』

聴覚にハンディのある方の耳代わりとなって、語り手の言葉をスクリーンに字や映像として映し出したり、そばについて書き取って表したりすることです。

ボランティアに関するご相談・お問い合わせは、**倉敷ボランティアセンター**まで(ホームページも見てね!)

TEL 434-3350 FAX 434-5537 <http://www.fukushiokayama.or.jp/kurashiki/kurashiki.htm>

平成19年度後期（平成19年10月～平成20年3月） 住民福祉を支える寄付者芳名簿

(50音順に掲載しています。敬称は略させていただきました。)

善意のご寄付ありがとうございました

倉敷地区

篤志寄付

2007年度(株)倉敷青年会議所 理事長 三宅 章夫	(株)日の出運輸	塩津 勻	藤原 光子
石原千鶴子	北出津多子	真如苑岡山布教所	松浦 弘子
大嶋 泰江	倉敷古典園芸植物同好会	神竜会 時岡 恒男	三宅 孝子
(株)青山キャピタル	倉敷市立帯江小学校四年生	藤原 兼義	安田 満年

香典返し寄付

赤木 政信	上村 邦男	岸川 久枝	田邊 裕司	難波 修平	室山栄一郎
赤澤 勝二	梅原	楠戸 昇吾	谷奥 要	西原 茂行	室山 健
朝井 桂子	大崎 紘一	楠本 幸	千原 一男	西槇 武士	室山美津子
浅原 壽子	大島 利博	栗坂 昌毅	忠田 正	長谷川 伸	守屋 良昭
阿部 正安	太田 稔	小中 茂	塚村 康志	長谷川 勝	八木 啓一
天野 義夫	大塚奈々子	小林 栄	坪井 照江	林 良明	八木 初夫
石井 潤	大森 真澄	近藤マサ子	露無 啓文	廣瀬 里美	山川 啓子
石井 善男	岡 誠一	佐々木 茂	寺島 正治	藤井 弘明	山本 仙治
石原 伸俊	岡崎 博子	佐藤 一夫	土橋 淳子	藤井 道之	吉澤 幸子
稲田 達文	小河原修作	千田 治	永瀬 彰博	丸畑 伸幸	渡邊 康弘
犬飼 賢一	小野 登	宗田 浩	永瀬 悟	三木 昭雄	
猪木 悦次	小野 良子	高橋智恵子	仲達 泉	三宅 彊	
今井 正章	甲斐 牧子	竹内 俊治	中野 正輝	三宅 就博	
上西 秀子	河合 健	武本 文子	難波 克巳	向 森好	

※おことわり 第43号（平成19年11月1日発行）の社協だよりで掲載もれがありましたのでお詫び申し上げ訂正いたします。 井上 達也

物品寄付

JFE スチール(株)西日本製鉄所福山地区陶芸部	倉敷市立帯江小学校	倉敷市立中洲小学校
(株)仁科百貨店 代表取締役 仁科 正己	倉敷市立中庄小学校	

水島地区

篤志寄付

安藤 早苗	坂本 四郎	松江たんぼぼの会
遠藤 堯之	下川 武男	水島カトリック教会
尾崎 明	鶴崎 純一	水島寿大学
倉敷市立福田南中学校特別支援学級	福田地区民生委員児童委員協議会ふくふく会	渡辺 和雄

香典返し寄付

阿部 昭	井上 高光	日下津哉子	永易 亨	三宅 明美	吉元 進
伊賀 恵子	上田 悦子	木場 セツ	西 聡子	虫上 直	米井 絹子
石部 謙治	金澤 典子	角南登美子	逸見 恭夫	山本 始	渡邊 道明

児島地区

篤志寄付

本荘園芸同好会	家守 敏郎
---------	-------

香典返し寄付

明石 年正	池畑 国雄	大中 登	岡野 光弘	喜田 磯道	高橋 浩一
浅原 和興	伊藤 憲明	岡田美作男	片山 敬子	木村 堅一	橋 賢三
阿部 和美	内海 一章	岡野 耕治	河合 稔	城山 昇	伊達 正二
安藤 友久	大島 俊秋	岡野 澄子	川田 貴博	高月 功	東條 絹江

地域の皆様からのご厚志は社会福祉協議会の実施する、福祉活動に活用させていただきます。

中塚 敬郎	那須 寿	平光 保	藤原ツヤ子	森山 和雄
中村 久男	難波 博治	廣瀬 里子	古谷 正子	山脇英一郎
中山 一雄	仁科 博	福田 育郎	松井 恒彦	吉川 一海
永山 久次	西原 敏文	福田 政明	万谷 章	

物品寄付

山本 哲也

玉島地区

篤志寄付

香典返し寄付

田中 伸子	難波 紋民	藤田 文江
玉島支所有志	難波 育久	丸野 利夫
天台宗岡山教区第四部事務所	難波 貴子	上野 泰生

赤澤 俊道	小川 宏美	小山 隆明	千種 教夫	初村 廣則	三宅 隆
秋田 泰忠	小野 清憲	坂本 素子	寺川 勲	花土 二郎	三宅 英雄
浅原位津枝	小野 智士	眞田 寛子	天納 悟	原田浩太郎	宗高 俊雄
浅原 征治	加賀 孝子	白神 忠信	仲 桂子	原田 大作	守分 清子
猪木恵美子	加瀬野義彦	炭 伸明	長尾よねみ	原田 敏子	守分 史朗
今城 隆行	金澤 倫子	関藤 武士	中藤 賢治	原田 始	森分 浩
岩田 善雄	金谷 昇	妹尾 弘美	中藤 睦子	原田 通好	森分 陵子
岩知道 正	鎌田 彰	妹尾 光雄	中原 清克	樋口 仁子	柚木 成美
上田 高明	川上 博人	宗田 忠道	中元 敏枝	平松 宗一	吉田 寛
卜部 淳一	河田 幸三	高見 克己	西 巧	福武 司郎	吉田 誠
大月小夜子	木村 浩造	滝澤 悟	西 美代	藤岡キミ子	米本 弘
岡田 祥郎	家守 昭廣	竹内 行雄	西 賢治	藤澤 紘六	若狭 收
岡田 宣二	玄馬 誠	武縄 明	西山永里子	堀 禮子	
岡田 正夫	香西眞佐子	武政 喜八	野口 智由	松浦 慎一	
岡部 慎一	香西 茂	田野 純子	畑野 敏夫	三宅 邦宜	

物品寄付

倉敷市立上成小学校児童会

倉敷市立乙島小学校

船穂地区

篤志寄付

香典返し寄付

安藤 正幸	富田ケアセンター(有)
-------	-------------

石井 康雄	小野 勉	園田 淳	中桐 菊次	花田 真人	渡辺 良二
石井 玲子	草下 信子	高橋 順子	中桐 節子	平本 良司	
井上 勝	小原 正行	高橋 智運	中桐 良夫	松下 保生	
岡村 邦彰	佐々木勝博	武政 和代	中原 伸市	安原登志夫	
岡本 弘子	佐々木幹恵	中桐 公亮	花田 清一	横溝 勇二	

真備地区

篤志寄付

香典返し寄付

真備町佛教会 代表 奥村 宏道	三宅一民酒店
-----------------	--------

浅野 英二	片岡 勲	高橋 和美	服部 勝子	三宅 努	横田 澄雄
浅野 卓也	加藤 克己	谷口 元一	林 由味子	守屋 勇	
浅野 卓夫	加藤 忠吉	田淵 賢一	東山 豊	森脇 清	
井上 泉	黒岡 孝久	竹本 一男	平岡 弘子	山崎 巖	
井上 豊明	近藤 富子	富岡 理弘	藤原 昌子	山邊 致男	
江尻 満	妹尾 行雄	中山 茂實	水田 有是	山邊 健治	

物品寄付

岡山県西部ヤクルト販売(株)

上記のほか、匿名の寄付 全市34件

善意のご寄付は種となり地域に福祉の花を咲かせます。

福祉講演会

福祉講演会は赤い羽根共同募金から配分を受けています

第19回 福祉講演会 (水島地区)

日時 平成20年6月29日(日)
午前10時～午前11時30分
場所 水島公民館
演題 「岡山の文化再発見」
講師 桃太郎のからくり博物館
館長 住宅 正人氏
受講料 無料 (受講票が必要)
問合せ 社協水島事務所 TEL 446-1900



第35回 夏期福祉講座 (玉島地区)

日時 平成20年7月27日(日)
午後1時～午後3時30分
場所 玉島文化センター
演題 「介護百人一首
～日々の気持ちを短歌と
共に吐き出そう！」
講師 フリーアナウンサー・エッセイスト
小谷 あゆみ氏
受講料 無料 (受講票が必要)
7月15日午前8時30分から受講票を配布
問合せ 社協玉島事務所 TEL 522-8137



玉島『心のバリアフリー講座』

～見えないということを理解しよう～

アイマスク体験や視覚ハンディを持つ方々と交流してみませんか。

- 日時 平成20年7月12日(土)
9時30分～12時30分
- 場所 玉島障害者支援センター (県立玉島高校東隣)
- 内容 当事者の方の体験発表、アイマスク体験、意見交換など
- 受講料 無料
- 対象 市内在住の人。約40人。先着順。
- 申込方法 6月1日～6月30日までに電話か来所で
- 問合せ 社協玉島事務所 TEL 522-8137
玉島障害者支援センター TEL 525-7867

ガイドヘルプ ボランティア養成講座

視覚障がい者のガイドヘルプの仕方を学び、実際に活かしてみませんか？

- 日時 平成20年6月15日(日)
9時30分～12時30分
- 場所 倉敷市児島障害者支援センター
(児島警察署となり)
- 内容 当事者との交流、
ガイドヘルプの仕方について、
ガイドヘルプボランティアの活動紹介
- 申込期日 平成20年6月11日(水)
- 申込方法 電話または来所
- 申込場所 倉敷ボランティアセンター
TEL 434-3350
倉敷市児島障害者支援センター
TEL 472-3855



ただいま 夏ボラ計画中～♪

ボランティア活動をしてみたいけど、できるだろうか？
何かしてみたいけれど、学校が休みのときしかできない…。そんなアナタへ、この夏、ボランティア体験をしてみませんか？



- ◎申込期間 平成20年
6月3日(火)～6月13日(金)
 - ◎参加費 300円
(ボランティア活動保険料込み)
 - ◎受付場所 社協各事務所・
ボランティアセンター
- 申込要綱などは5月20日ごろから申込受付場所にて配布予定

編集・発行



社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会

事務局 〒710-0834
倉敷市笹沖180
TEL:086-434-3301/FAX:086-434-3357
E-mail: kurasyakyo@kurashikisyakyo.or.jp

ボランティアセンター 〒710-0834
倉敷市笹沖180
TEL:086-434-3350/FAX:086-434-3357
E-mail: volun@kurashikisyakyo.or.jp

水島事務所 〒712-8062
倉敷市水島北幸町1-1
TEL:086-446-1900/FAX:086-440-0154
E-mail: mizushima@kurashikisyakyo.or.jp

児島事務所 〒711-0912
倉敷市児島小川町3681-3
TEL:086-473-1128/FAX:086-470-0054
E-mail: kojima@kurashikisyakyo.or.jp

玉島事務所 〒713-8121
倉敷市玉島阿賀崎1-1-1
TEL:086-522-8137/FAX:086-523-0054
E-mail: tamashima@kurashikisyakyo.or.jp

船穂事務所 〒710-0261
倉敷市船穂町船穂1861-1
TEL:086-552-5200/FAX:086-552-9030
E-mail: funao@kurashikisyakyo.or.jp

真備事務所 〒710-1301
倉敷市真備町箭田1161-1
TEL:0866-98-4883/FAX:0866-98-9622
E-mail: mabi@kurashikisyakyo.or.jp

相敷談話所 〒710-0055
倉敷市阿知1-7-2-803
TEL:086-427-0667/FAX:086-427-0670

パブリック人材 〒710-0055
倉敷市阿知1-7-2-803
TEL:086-427-3236/FAX:086-427-0670

